

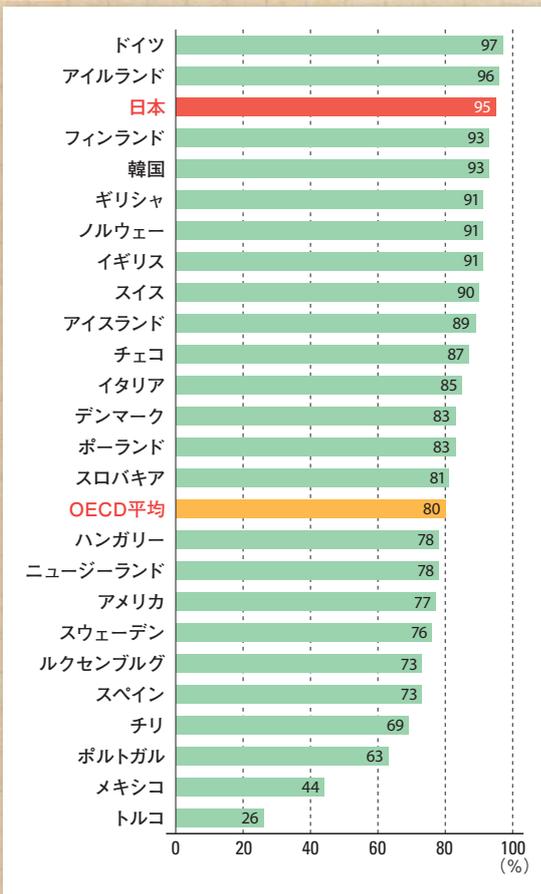
# 世界の中での日本の高校、高校生の姿

図1 PISAの結果

読解力		数学的リテラシー		科学的リテラシー	
2000年	2009年	2000年	2009年	2000年	2009年
1 フィンランド	上海	1 <b>日本</b>	上海	1 韓国	上海
2 カナダ	韓国	2 韓国	シンガポール	2 <b>日本</b>	フィンランド
3 ニュージーランド	フィンランド	3 ニュージーランド	香港	3 フィンランド	香港
4 オーストラリア	香港	4 フィンランド	韓国	4 イギリス	シンガポール
5 アイルランド	シンガポール	5 オーストラリア	台湾	5 カナダ	<b>日本</b>
6 韓国	カナダ	6 カナダ	フィンランド	6 ニュージーランド	韓国
7 イギリス	ニュージーランド	7 スイス	リヒテンシュタイン	7 オーストラリア	ニュージーランド
8 <b>日本</b>	<b>日本</b>	8 イギリス	スイス	8 オーストリア	カナダ
9 スウェーデン	オーストラリア	9 ベルギー	<b>日本</b>	9 アイルランド	エストニア
10 オーストリア	オランダ	10 フランス	カナダ	10 スウェーデン	オーストラリア

\*参加国の特徴：2009年の参加国（65か国）、うちOECD加盟国34か国、非加盟国・地域31、約47万人の生徒対象  
 出典／国立教育政策研究所編『生きるための知識と技術』（ぎょうせい、2002、2004、2007；OECD,PISA2009 Result, Volume 1, What students Know and Can Do, 2010）

図2 後期中等教育卒業率



\*卒業率＝卒業する人数の該年齢人口に占める割合  
 出典／Education at a Glance 2010；OECD Indicators-©OECD2010

図3 高校生の震災との関係

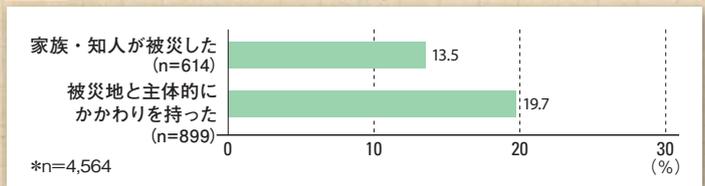
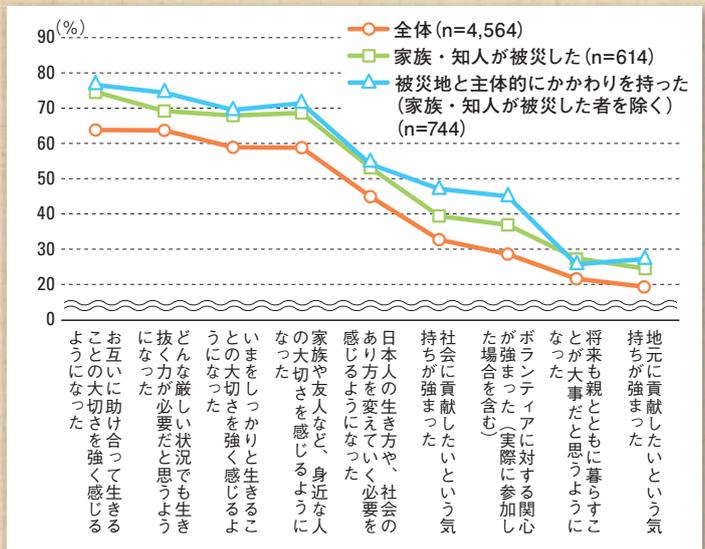


図4 震災による高校生の価値観の変容 (全体、震災との関係別)



\*数値は「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の割合  
 \*「家族・知人が被災した」…家族や自宅、親戚、友人・知人が被災した。「被災地と主体的にかかわりを持った」…被災地を実際に訪れたり、ボランティア・募金・物資を送るなどの被災地支援を行った。  
 図3、4出典／Benesse教育研究開発センター「高校生と保護者の学習・進路に関する意識調査」(2011年)

## 震災を機に、自分の生き方を見直す高校生

◎今回の新課程では、PISAの結果（図1）がかなり意識されている。数学的リテラシーや科学的リテラシーは2000年の結果と比較すると09年は順位を下げている。こうした課題の一方、日本の高校卒業率はドイツ、アイ

ルランドに続いて高く、生徒指導を含めて学校での指導が充実している様子がうかがえる（図2）。また、東日本大震災を機に、自分の生き方を見直し、社会に貢献したいと思う生徒が多くいる点にも注目したい（図3、4）。